

序 文

技能の評価は難しいとされる。殊に、課題を異にし、競技の場を異にした場合の比較は従来全く不可能であった。「通し評価法」はそれを始めて可能にしたものであるが、その成課は本報に美事に生かされている。

本報によって、我国の旋盤技能の国際的高さが改めて確認された。それと同時に、総高訓訓練生の技能が、年令その他不利な条件にありながら、なお決してあなどれぬ水準に在ることもわかったのである。この事実のかげにひそむ指導員諸氏の努力に改めて敬意を払うと共に、今後ともこの「通し評価法」が、職業訓練界に普及活用されるよう祈りたい。

調査研究部長 宗 像 元 介

五
内
さ

昭和 4 6 年 5 月 日 発行

発 行 者 職 業 訓 練 大 学 校

調 査 研 究 部 長 宗 像 元 介

職 業 訓 練 大 学 校

東 京 都 小 平 市 小 川 西 町 2 2 1 0

電 話 0 4 2 3 (4 1) 3 3 3 1